

講演

「自然免疫とそれを克服する病原細菌」

日時：平成27年5月25日 15時より

場所：連合大学院棟 6階

合同ゼミナール室

講師：日本生物科学研究所 所長

(東京大学医科学研究所名誉教授)

笹川 千尋 博士



「講演内容」

赤痢菌やヘリコバクターピロリなどの粘膜病原細菌が感染すると、生体はオートファジーやプログラム細胞死を始めとした自然免疫応答により、細菌や感染細胞そのものを排除します。一方、細菌側は、エフェクターと呼ばれる病原因子により宿主細胞の機能を制御・阻害し、生体の防御機構を回避しています。笹川千尋先生は、病原体と宿主の相互作用に関して、赤痢菌やヘリコバクターピロリをモデルとして、分子生物学、細胞生物学、免疫学的手法を用いて包括的に解明されてきており、本講演では、その一端をご紹介します。

背景：赤痢菌によるマクロファージの細胞死

問い合わせ先：岐阜大学大学院連合獣医学研究科

TEL: 058-293-2987